

十三番、館(たて)

「はるばると 参りて 拜む
よしみ寺 仏のちかい
新た なるらん」

真言宗 福聚山 観音寺
会津若松市北会津町館一七
本尊 聖観世音 集落管理
駐車場 あり
トイレ なし

戦国時代に、東に位置する田村山集落の田村山氏が、分家を置いて開き館を築いていたことから「館」といいます。会津若松市の大町の一柱院の末寺で、天正三年(一五七五)に円智が中興しますが、天正一七年(一五八九)伊達政宗の進攻により焼失し、その後再興されず。本尊は、六寸といいます。



堂前に駐車。

十四番、下荒井

「高のやま よそに 嵐の
下荒井 三鈷の松の
のりの 朝風」

真言宗 松命山 蓮華寺
会津若松市北会津町下荒井六〇
本尊 聖観世音 集落管理
駐車場 あり
トイレ なし

下荒井には、康暦元年(一三三九)、葦名氏直盛の弟が城を築き、仁範が蓮華寺を開基したといわれています。その後、葦名氏四天宿老の一人、富田氏の居城となり、下荒井城といいました。その北東には、日蓮宗の妙法寺がありました。天正十七年(一五八九)伊達政宗の進攻で焼かれました。堂は、集落北にありましたが寛永中廃寺となり、現在地に移されました。



堂前に駐車。境内に三鈷の松、飯豊山神社があります。「高野山」は「高の山」、「在らじの」は「嵐の」が正しい。

十五番、高瀬

「乗り得ても 心許すな
あまお舟 高瀬の 波は
時を 嫌わず」

曹洞宗 吉高山 福昌寺
会津若松市神指町高瀬八一
本尊 十一面観世音 集落管理
駐車場 あり
トイレ あり☆

慶長五年(一六〇〇)上杉景勝・直江兼続によって築かれ、築城途中で中止となった神指城二ノ丸北東の堀跡に寺があります。承安二年(一一七二)金売吉六が応湖川を船で渡ろうとしたとき、船が転覆し溺死したことから寺が建立されます。永禄・元亀(一五五八〜七二)の頃、黄金の観音像が盗まれたという。



堂前に駐車。集落内道路狭し。高瀬集落は神指城築城時湯川村に移転しました。

